



2015年4月20日

各位

水力発電所の大規模更新について

当社 三井金属（社長 仙田 貞雄）は、100%子会社である神岡鉱業株式会社（岐阜県飛騨市）が所有する水力発電所の大規模な更新の決定をいたしましたので、お知らせいたします。

当社では、地球環境保全を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動すること、を理念に掲げており、近年では、地熱、水力および太陽光など、再生可能エネルギーの開発にも積極的に取り組んでおります。

今般、神岡鉱業が所有する水力発電所のうち、双六川水系と跡津川水系の5発電所の大規模更新工事を平成27年度から平成30年度にかけて実施いたします。本発電所は、1920年（大正9年）から1964年（昭和39年）にかけて、運転を開始したもので、近年では老朽化が進み、早晩、停止せざるを得ない状況にあるため、大規模な更新工事が必要でありました。工事内容は、ほとんど全ての設備と電力会社との系統連系に必要な設備の更新であり、更新後の当初20年間は、発電した電力を全て電力会社に販売する計画です。大規模更新工事にあたり、周辺の環境に十分配慮し、安全対策も万全を期して進めてまいります。

本発電所の大規模更新により、クリーンエネルギーの利用拡大に貢献できるものと確信しております。また、当社は今後も地球環境に配慮した事業活動の実施に努め、環境保全と社会への貢献を果たしてまいります。

[水力発電所更新工事の概要]

- (1) 対象水力発電所 : 双六川水系（金木戸発電所、金木戸第二発電所）
跡津川水系（跡津発電所、土第一発電所、土第二発電所）
- (2) 更新後の最大出力 : 約 35,000kW
- (3) 工事内容 : 各発電所の導水路、水圧管路、水車、発電機、主要な変電所、及び送電線など更新
- (4) 投資額 : 約 220 億円

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部 IR・広報室

TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029

E-mail PR@mitsui-kinzoku.co.jp



発電所名	使用河川	発電開始時期	発電能力 (更新後)	更新工事予定期間
金木戸	双六川	1953(S28).7	18,000kW (18,252kW)	2015(H27).6 -2017(H29).8
金木戸第二	双六川 (山吹谷)	1964(S39).5	850kW (886kW)	2016(H28).4 -2017(H29).9
跡津	跡津川	1925(T14).2 (1981(S56).10増強)	11,850kW (13,026kW)	2016(H28).4 -2018(H30).5
土第一	跡津川	1920(T9).2 (1989(H1).4増強)	1,650kW (1,865kW)	2016(H28).4 -2018(H30).7
土第二	跡津川 (間山谷)	1936(S11).2	1,000kW (1,126kW)	2017(H29).4 -2018(H30).8
東漆山	高原川 (中の谷)	1964(S39).5	860kW	
割石	高原川 (切雲谷)	1917(T6).1 (1977(S52).8増強)	2,000kW	
鹿間	高原川 (鹿間谷)	1964(S39).6	240kW	
天狗の団扇	— (茂住坑内)	2014(H26).6	70.9kW	
和佐保	和佐保川	2015(H27).5予定	840kW	